
平成23年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成23年2月25日

質問者（質問順）

- 1 五十嵐 節 馬 委員（民主党）
- 2 手塚 静 江 委員（公明党）
- 3 大桑 正 貴 委員（無所々）
- 4 関 美恵子 委員（共産党）
- 5 小幡 正 雄 委員（ヨコ会）
- 6 瀬之間 康 浩 委員（自民党）
- 7 佐藤 祐 文 委員（自民党）
- 8 菅野 義 矩 委員（民主々）
- 9 藤田 みちる 委員（ネット）
- 10 片桐 紀 子 委員（無所属）

教 育 委 員 会 事 務 局

局 別 審 査

1 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

1 9年間一貫した英語教育について

小学校教員と英語指導助手の連携の現状について伺いたい。

2 国際理解教育について

(1) 外国人児童生徒が多くいる学校への支援体制について伺いたい。

(2) 日本語指導が必要な児童生徒への支援における課題について伺いたい。

(3) 「日本語指導が必要な児童生徒の受入・指導マニュアル」作成の意図と予定されている内容について伺いたい。

(意見) 保護者への多角的・総合的な支援が必要である。また、地域のボランティアとの連携も必要である。

3 様々な困難を抱える子どもたちへの対応について

(1) いじめを進行させないための学校への支援について伺いたい。

(2) 児童虐待への学校での対応について伺いたい。

(3) 不登校対策アクションプランの改訂の背景とねらいについて伺いたい。

(意見) 小さな変化を捉え、アクションを起こしていくことが急務である。

4 特別な支援が必要な子どもたちへの支援について

(1) 特別な支援が必要な子どもたちの数について伺いたい。

(2) 学校で実施している特別な支援の具体的な取り組みについて伺いたい。

(3) 今後の取り組みについて伺いたい。

5 体力アップよこはま2020プランについて

(1) プラン策定の背景・経緯について伺いたい。

(2) プランの目標を「昭和60年の体力水準への回復」とした意図は何か。

(3) 子どもの運動への取り組み姿勢の二極化を、どのように解消していくのか。
(意見) 学校・家庭・地域・他局との連携に期待する。

6 教職員健康管理事業について

(1) 教職員の病気休職の状況及びそのうちに占める精神疾患系の割合について伺いたい。

(2) メンタルヘルス対策についてどのように取り組むのか。

(3) 出張カウンセリングの具体的なねらいと効果について伺いたい。
(要望) 出張カウンセリングについては、一丸となって実行してほしい。

7 学校教育事務所について

(1) 学校教育事務所の運営上の課題について伺いたい。

(2) この1年を踏まえた今後の学校教育事務所の運営のあり方について伺いたい。
(要望) 体制を整え、一人ひとりの力が発揮できるようにしてほしい。

8 交通拠点での図書サービス機能強化事業について

(1) 「交通拠点での図書サービス機能強化事業」の趣旨は何か。

(2) 平成23年度の調査の内容について伺いたい。

(3) 交通拠点の図書館サービスとして想定しているサービス機能及び条件は何か。
特に、これまで展開している「図書取次サービス事業」におけるサービスとの差異について伺いたい。

(4) 整備スケジュールについて伺いたい。

(5) 現在想定している規模及び場所について伺いたい。
(要望) まちづくりや地域経済再生にも貢献する。大都市にふさわしい新たなモデルを早期に整備してほしい。

9 市立学校空調設備設置事業について

(1) エアコンの使用期間と温度設定について伺いたい。

(2) 光熱費及び維持管理費についてどのように想定しているのか。

(3) エアコンの適正な使用方法をどのように徹底するのか。

(意見) 横浜市はさすがと思われる運用指針を作成し実行してほしい。

10 校務システムの導入について

(1) 校務システム導入により、個人情報の管理を行っていくうえで、期待できる効果は何か。

(2) 成績データ等の消失を防ぐための対策について伺いたい。

(3) 小学校での校務システムの導入状況についての把握の状況について伺いたい。

(4) 校務の効率化などに必要な教職員に対する支援方法について伺いたい。

(5) 校務の効率化を図ることによる教育活動に与える具体的影響について伺いたい。

(6) 現場の声を十分に聞いて行って欲しいと考えるが、見解を伺いたい。

(7) 業務の縮減、廃止等の調査・分析・対策が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(8) 調査・分析・対策について踏み出してもらえるのか。

11 教科書採択について

(1) 市立中学校で使用されている自由社の歴史教科書の冊数とそれにかかる国費と市費について伺いたい。

(2) 自由社からのお詫びに対する教育委員会の対応について伺いたい。

(3) 教育委員会として補足の資料を作成し、中学校へ配付するのか。

(4) 平成23年度の中学校用教科書採択については、自由社の歴史教科書の採択・使用に関する問題と同じようなことが繰り返されないように、横浜の子どもにとって最適な教科書を選ぶことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 本市の子どもによりよい教科書を採択してほしい。教科書採択の正常化を望む。

2 手塚 静江 委員（公明党）

1 不登校対策とスクールソーシャルワーカー活用事業について

- (1) 本市の不登校の状況について伺いたい。
- (2) 不登校対策アクションプランの改訂のポイントは何か。
- (3) 不登校対策としてのスクールソーシャルワーカーの役割について伺いたい。
- (4) スクールソーシャルワーカーの業務が多岐にわたっており、各学校教育事務所
所に2名の配置では足りないと考えるが、見解を伺いたい。

2 9年間一貫した英語教育について

- (1) 小学校外国語活動を完全実施することによる期待される成果は何か。
 - (2) 小学校外国語活動を実施している上での課題について伺いたい。
 - (3) 9年間一貫した英語教育により、英語力向上以外に期待できる効果について
伺いたい。
- (要望) 小学校の子どもたちには、英語能力の育成とともに、ジェスチャーや表情
等の非言語的なコミュニケーションのあり方も含めて指導して、中学校につ
なげてほしい。

3 子どもの体力向上について

- (1) 本市における子どもの体力の現状について伺いたい。
- (2) 子どもの体力向上に向けた課題について伺いたい。
- (3) 子どもの体力向上に向けた今後の取り組みについて伺いたい。

4 「横浜市子ども学力向上プログラム」に基づく取組について

- (1) 「横浜市学力・学習状況調査」に基づく、「学力向上アクションプラン」の作
成支援システムの内容について伺いたい。
- (2) 「はまっ子学習ドリル、はまっ子学習検定システム」の概要とその活用方法に
ついて伺いたい。

(3) 「はまっ子学習ドリル、はまっ子学習検定システム」の活用状況の把握と検証について伺いたい。

(意見) 子どもたちが自主的にでき、子どもたちの学力が向上することを期待したい。

5 地域図書館司書補助業務委託事業について

(1) 「地域図書館司書補助業務委託事業」の目的と概要について伺いたい。

(2) 委託導入による効果について伺いたい。

(3) 既に司書補助業務委託を導入している中央図書館における成果について伺いたい。

(4) 市立図書館としての学校連携事業の展開について伺いたい。

(5) 今後の地域図書館の管理運営のあり方の検討について伺いたい。

6 学校図書について

(1) 学校における図書購入予算執行の考え方について伺いたい。

(2) 学校における蔵書管理システムの電算化の状況について伺いたい。

(3) 学校図書館のネットワーク化に対する考え方について伺いたい。

(要望) 学校・中央図書館・地域図書館一体となった取り組み、学校図書館のネットワーク化を期待する。

7 学校における食育について

(1) 「学校における食育」を進めるに当たっての課題は何か。

(2) 「学校における食育」の次期計画の取り組みについて伺いたい。

8 学校におけるアレルギー対応について

(1) 学校におけるアレルギー対応の基本的な考え方について伺いたい。

(2) 作成したマニュアルを全校に周知するための対応について伺いたい。

(要望) 担任にも研修の機会を設けてほしい。

3 大 桑 正 貴 委員（無所ク）

1 スクールソーシャルワーカー活用事業について

- (1) 平成20年度、21年度の調査研究の状況について伺いたい。
- (2) スクールソーシャルワーカー配置の具体的な効果は何か。
- (3) スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの連携状況について伺いたい。

2 特別支援教育を受けている子どもたちの進路について

- (1) 特別支援学校及び個別支援学級の在籍児童生徒数の推移について伺いたい。
- (2) 中学校個別支援学級卒業生の進学先について伺いたい。
- (3) 今後の特別支援学校の整備計画について伺いたい。
- (要望) これまでの枠組みにとらわれずに、高校でも進学ニーズに応えるようにし、対応策を考えてほしい。

3 横浜市立中高一貫教育校整備事業について

- (1) 他都市の公立中高一貫教育校における入学者の決定方法について伺いたい。
- (2) 南高等学校に併設する中学校の入学者の決定方法について伺いたい。
- (3) 横浜市立中高一貫教育校の適性検査のねらいは何か。

4 中学校昼食のあり方について

- (1) 中学校昼食を弁当としている理由は何か。
- (2) 「食事を管理する」ということの具体的なイメージについて伺いたい。
- (3) 中学校昼食に関連してこれまで行った調査やアンケートの内容について伺いたい。
- (4) 弁当を持ってこない1割の家庭の弁当調査だけでなく、中学校昼食の実態把握のために全数調査をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) あらためて、今回の調査方法について伺いたい。
- (意見) 予算をかけなくても全数調査はできる。

1 教員の採用について

- (1) 22年度の退職者見込み数と23年度の採用見込み数について伺いたい。
- (2) 35人以下学級実施分も含めた23年度の欠員に充てる臨時的任用職員見込み数について伺いたい。
- (3) 地方公務員法第22条に規定されている臨時的任用職員の採用に関する規定内容及び欠員に充てる臨時的任用職員採用の根拠規定について伺いたい。
- (4) 年度当初に生じる欠員に臨時的任用職員を充てることは規定違反であると考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 計画的に欠員が出るのを想定して、職員をあてていると思われるがどうか。
- (6) 初任者研修の機会もない臨時的任用職員が教育活動を行うことに教育上の問題は無いのか。
- (7) 定数内であれば正規採用は当然ではないか。
- (8) 欠員に臨時的任用職員をあてることの解消策について、副市長の決意を伺いたい。

2 再任用制度について

- (1) 再任用制度の目的は何か。
- (2) 再任用の採用見込み数を伺いたい。
- (3) ハーフ・フルタイムそれぞれの希望数について伺いたい。
- (4) 短時間勤務を希望している者にもフルタイム勤務を通知した理由について伺いたい。
- (5) 希望通りの勤務形態で採用されない人が辞退をしてしまう状況を生み出していることは、再任用制度の目的に反すると考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 仕事を奪ってしまったら、目的に反するのではないか。
- (要望) 学校現場で自分のできる範囲で力が十分発揮できるよう、ハーフ希望者の要望に応えてほしい。

5 小幡正雄委員（ヨコ会）

1 適正規模校の実現のための方策について

- (1) 児童・生徒数や学級数の推移と特徴について伺いたい。
- (2) 小規模校の現状と平成28年度までの予測・見通しについて伺いたい。
- (3) 「横浜教育ビジョン」・「横浜市教育振興基本計画」における「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」推進事業の位置づけについて伺いたい。
- (4) 再編統合までの期間、成果と課題について伺いたい。
- (5) 再編統合による財政的効果と再編統合後の跡地利用はどうなっているのか。
- (6) 今回、新たに基本方針を策定した主な目的は何か。
- (7) 今後の再編統合に向けて、どのような努力をし、PRをしていくのか。
- (要望) 統合するにあたっては、地域にできるだけ早く情報を出して行ってほしい。
- (8) 適正規模校の基準についてどのように考えているのか。

2 横浜らしい教育の推進について

- (1) 横浜型小中一貫教育推進計画とこれまでの課題について伺いたい。
- (2) 小中一貫教育の推進には、授業時間の確保、カリキュラムの適切な遂行、授業が十分に理解できない子どもに対するフォローなどの現状の課題解決が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 平成23年度の横浜型小中一貫教育推進の取り組みについて伺いたい。

3 子どもの体力向上推進事業について

- (1) 子どもの体力向上を目指してこれまで取り組んできた事業の成果と課題について伺いたい。
- (2) 「体力向上推進拠点校」「朝の学校施設を活用した体力向上検討モデル校」の実施校数が少なかった理由と学校への周知方法について伺いたい。
- (3) 中学校区ごとに体力向上推進校を設置するなど、方面別教育事務所ごとの設

置目標を設定すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 地域の教育力を活かした学校運営の支援について

- (1) 学校・地域連携事業での地域コーディネーター養成実績、地域ボランティア活動の支援内容と課題について伺いたい。
- (2) 学校運営協議会の設置目的、設置状況およびその課題について伺いたい。
- (3) 学校運営協議会の今後の設置目標について伺いたい。
- (4) 地域の教育力を活かした学校運営には、方面別学校教育事務所が設置されたことにより教育委員会だけではなく、区の学校支援連携担当、自治会などとの情報共有や協働が必要と考えるが、今後の取り組みについて伺いたい。
- (5) 教育委員会と他局とがより積極的に連携して取り組みを進めてほしいと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

5 現在の日本、横浜市の教育をめぐる課題、今後の方向について、教育委員長の見解を伺いたい。

6 瀬之間 康 浩 委員（自民党）

1 「横浜英語村」の充実について

- (1) 今年度の「横浜英語村」の実施状況について伺いたい。
 - (2) 「横浜英語村」のこれまでの成果と課題について伺いたい。
 - (3) 今後の「横浜英語村」の方向性について伺いたい。
- (要望) 横浜の子どもたちが、将来、国際舞台で活躍できるよう、英語村事業を今後も充実してほしい。

2 言語力の育成について

- (1) 市立学校における言語力の育成のための本市の取り組みについて伺いたい。
 - (2) 学校では「言語活動サポートブック」をどのように活用しているのか。
 - (3) 今後、学校が子どもたちの言語力を育成するために、どのような支援をしていくのか。
- (要望) 今後も言語力の育成に継続的に取り組んでほしい。

3 学校における食育の推進について

- (1) 学校における食育の目的は何か。
 - (2) 給食における地産地消の取り組みについて伺いたい。
 - (3) 地元 J A との取り組み状況について伺いたい。
- (要望) 今後も給食に地場産物を積極的に取り入れてほしい。
- (4) 中学校昼食のあり方検討調査をどのように進めていくのか。
- (要望) 学校の状況に合わせてより望ましい学校昼食のあり方を検討してほしい。

4 理数教育の推進について

- (1) 小学校の理科支援員の具体的な役割は何か。
- (2) 理科支援員を本市の財源により配置していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も理科支援員の配置拡充を希望する。

(3) 横浜サイエンスフロンティア高校の2年間の教育の成果について伺いたい。

(4) 横浜サイエンスフロンティア高校における教育の今後の取組について伺いたい。

(5) 小学校から大学までを見通した理数教育の推進をどのように図ろうと考えているのか。

5 中高一貫教育校の整備推進について

(1) 23年度説明会の予定について伺いたい。

(2) 南高等学校に併設される中学校の通学区域の考え方について伺いたい。

(3) 卒業生や外部の多様な人材の活用の考え方について伺いたい。

(要望) 平成24年4月の開校に向け、市民に積極的に広報し、幅広い支援が得られるように、地元・学校関係者と連携をとり、質の高い中高一貫教育の実現に向け努力してもらいたい。

7 佐藤 祐文 委員（自民党）

1 35人以下学級の実施に向けた取り組みについて

- (1) 35人以下学級の実施までのスケジュールについて確認したい。
 - (2) 実施による学級数増加の見込数について伺いたい。
 - (3) 35人以下学級が実施された場合の、施設面での対応策について伺いたい。
 - (4) 新たに必要となる教員確保の具体策について伺いたい。
- (要望) 他学年に与える影響も大きい。1学級増えるところにはしっかりとした配置をしてほしい。

2 教員の質の向上対策について

- (1) 新採用の教員に対しての育成をどのように進めるのか。
 - (2) 教職員の質の向上を図る上でどのような視点で研修を行うのか。
 - (3) 次代の学校経営を担う副校長に対してどのような研修を行っていくのか。
- (要望) 優秀な教員を確保していくと共に教員の質の向上を図ることは最も重要なことであると考えます。教員の質の向上については、教育委員会として真摯に取り組む、尽力することを要望する。

3 学校教育事務所が担う人材育成について

- (1) 学校教育事務所における教員の指導力向上に向けた取り組みについて伺いたい。
 - (2) 学校教育事務所が行う今後の教員育成について伺いたい。
- (意見) 指導主事の人数が他の政令市に比べて少ない。成果を上げるための体制整備が必要である。
- (要望) 指導主事が自らを磨き、現場・保護者・子どもたちから学校が変わったと言われるよう積極的に取り組んでほしい。

4 環境に配慮した学校の整備について

- (1) 学校で行っている営繕工事のうち、老朽化対策ではなく、生活環境を改善するために行っている工事内容は何か。
 - (2) 現在、既存の学校における地球環境に対する取り組みはどのようなものがあるか。
 - (3) あかね台中学校において整備している環境対策の内容について伺いたい。
 - (4) 美しが丘西小学校で予定している環境対策への取組について伺いたい。
- (要望) 学校の老朽化問題について、学校の建て替えの時代は間違いなく来る。いずれ取り組まなければならない問題であり、すぐにはできない問題でもある。次世代を見据えて、新年度からでも検討していくべき課題と考える。
- (5) 学校の老朽化問題について、副市長のコメントをいただきたい。

8 菅野義矩委員（民主ク）

1 いじめ対策について

- (1) いじめ問題への認識について伺いたい。
- (2) 教育委員会のこれまでの取り組みについて伺いたい。
- (3) いじめ解決一斉キャンペーンについて伺いたい。
- (4) スクールカウンセラーの活用状況について伺いたい。
- (5) いじめ解決に向けてスクールカウンセラーが果たす役割について伺いたい。
- (6) いじめ問題について、副市長の所感を伺いたい。

9 藤田みちる 委員（ネット）

1 学校施設の営繕費関連について

- (1) 学校施設の実態をどのように把握し、必要な修繕が行われているのか。
- (2) 学校の修繕に関する予算が減る中で、学校施設の老朽化対策の後退のように思うがどうか。
- (要望) 老朽化はどんどん進行する。安心して学習でき、学校が安全な場所であるよう、今後も工夫を重ね整備に取り組んでいただきたい。

2 地域交流室について

- (1) 地域交流室の設置目的、利用状況について伺いたい。
- (2) 地域交流室の具体的な利用事例について、また、その利用方法は設置校による判断で行われているのか。
- (要望) 北部方面では教室不足が言われている。また、既に設置された学校では、学校と地域をつなぐ社会資源として、地域の特性を生かしながら今後も活用をしてもらうよう学校に働きかけてほしい。

3 学校の水道使用量について

- (1) 学校の水道使用量の管理方法について伺いたい。
- (2) 水道使用量の学校間でのばらつきについて、どのように考えているのか。
- (要望) 水光熱費の節減は重要である。児童生徒に水質や使用量が見えるようにすることは、水を大切に使うことを学ぶことに有効である。ぜひ考えてほしい。

4 食物アレルギーについて

- (1) 学校給食において、食物アレルギーのある児童に対してどのような対応をしているのか伺いたい。
- (2) 学校栄養職員が配置されていない学校での取り組みについて伺いたい。

(要望) 食物アレルギーへのきめ細かな対応と共に、食育にとって重要な役割を担う学校栄養職員の全校配置が一日も早く実現できることを要望する。

5 特別支援学校における医療的ケアの実施状況について

(1) 医療的ケアを必要とする人数とその内容について伺いたい。

(2) 医療的ケア体制の整備について伺いたい。

(要望) 今後も十分な体制を整えていただきたい。

6 理科支援員配置事業について

(1) 理科支援員を配置した学校からはどのような報告がされているか。

(2) 理科支援員の配置の継続についてどのように考えているのか。

(要望) 財政的に厳しいとは思いますが、多くの子どもたちが理科や科学が好きになるよう、また、地域の人材を利用することなど創意工夫して、理科支援員が配置できるよう強く希望する。

1 9年間一貫した英語教育について

- (1) 小学校外国語活動と中学校外国語科の連携の在り方について伺いたい。
 - (2) 「中学校外国語科事例集」の内容と作成スケジュールについて伺いたい。
 - (3) 小学校外国語活動を担当する教員への今後の支援について伺いたい。
- (要望) 国際文化都市特別委員会でも提言しているが、専任で行う講師が本当は必要だと考える。ぜひ、現在担当している先生へのフォローを充実していただきたい。

2 「横浜英語村」事業について

- (1) 「横浜英語村」の内容充実に向けた取り組みについて伺いたい。
- (2) 都筑小学校英語村のような学校独自の取り組みを拡げたり、区ごとの開催など事業拡大を検討するべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 日本語の指導が必要な児童生徒への支援について

- (1) 日本語指導が必要な児童生徒数の推移について伺いたい。
- (2) 「日本語指導者養成講座」を実施した効果と今後の予定について伺いたい。
- (3) 国際教室を担当する教員が年度ごとに変わる学校もあるようだが、ある程度固定して育成していくべきと考える。校内での配置と育成について見解を伺いたい。
- (4) 学校支援の充実を図るために、地域や関係団体との効果的な連携強化を図っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。